

WAKA AYU

B型肝炎、C型肝炎の治療革命

消化器病センター 医長 菅谷洋子

パーキンソン病から認知症まで脳神経内科の診療

脳神経内科 医長 作田英樹

外来での one point リハビリ - 呼吸器編 -

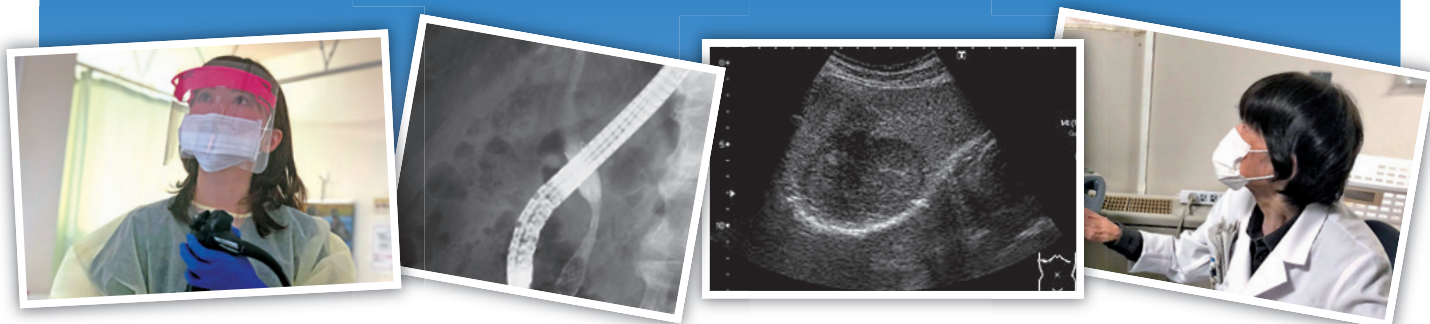
リハビリテーション科



革新を遂げた肝炎治療と

幕開けの神経難病治療

B型肝炎、C型肝炎の治療革命



消化器病センター

令和2年4月より消化器疾患診療強化のために消化器病センターが設立されました。当センターでは、内視鏡による診断および治療を中心とした食道・胃・大腸に加えて、肝臓・胆道・膵臓までの幅広い消化器疾患の診療を行なっています。肝臓部門では、私 菅谷洋子が中心となり、特に慢性肝炎の診療を行っております。近年、B型肝炎およびC型肝炎の治療薬は大きな進歩を遂げ、適切な診断により、良好な治療成績を修めています。今回、当センターで行っているウイルス性肝炎の治療を紹介いたします。

1.ウイルス性肝炎

肝疾患専門医療機関である当院ではウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法を積極的に行っています。慢性B型肝炎、慢性C型肝炎に対する抗ウイルス療法の進歩はめざましく、現在は核酸アナログ製剤の内服での治療が可能となっています。副作用も少なく治療成績も格段に向上しています。現在、わが国ではB型肝炎のウイルス保持者は約110～140万人、C型肝炎のウイルス保持者は約190～230万人と推定されています。しかしながら、実際に治療を受けている患者数はB型肝炎で約17万人、C型肝炎で約47万人と推定されておりウイルスを保持しているが、感染に気がついていない方が大多数であるのが現状です。肝炎は症状がないため、自覚しないうちに進行し肝硬変や肝臓癌の原因となりますので、ウイルスに感染しているかどうかを血液検査で確認する

消化器病センター 医長 菅谷 洋子

消化器病センターのメンバー



土田幸平 岩崎茉莉 菅谷洋子 牧 竜一

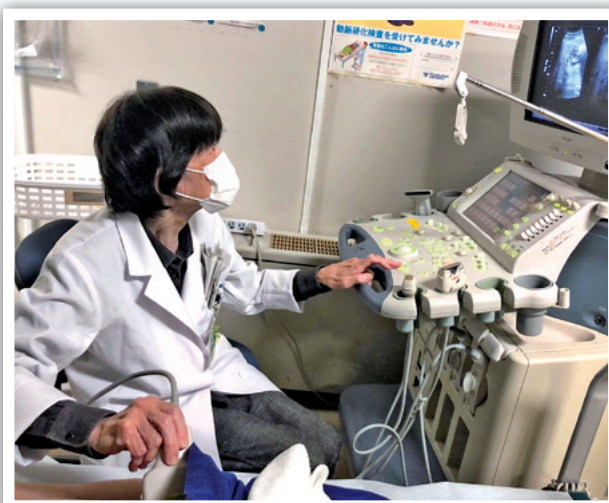


図1 慢性肝炎の超音波検査

必要があります。また、血液検査で肝機能が正常であっても肝炎ウイルスに感染している場合、慢性肝炎をきたしていることがあります。このようなケースでも適切に治療適応を診断できるよう当科では超音波検査(図1)を組み合わせて治療の適応を判断しています。肝炎ウイルスの検査を行い、積極的に治療することで、将来的な肝硬変や肝臓癌を予防することが可能になります。

2.B型肝炎

B型肝炎は日本では多くは母子感染によるものでしたが、現在B型肝炎ウイルスを保持している妊婦さんからの出生児にはワクチン投与が行われ新たな母子感染は少なくなりました。一方、東南アジアを中心とした諸外国ではB型肝炎ウイルスの罹患率が高い国がいくつかあり、わが国においても外国人の増加とともに若者の間で性感染症として急性B型肝炎が増加しています。これらの一部の人達は慢性化してしまい慢性B型肝炎として自覚症状のないまま肝硬変や肝臓癌へ進行してしまいます。慢性B型肝炎は自然治癒することは稀であり、検査で陽性を確認した場合は肝臓の精密検査が必要となります。精密検査で抗ウイルス療法の適応と判断されれば、核酸アナログ製剤による内服治療を行います。抗ウイルス療法によりウイルス量を減少させることで肝炎からの肝硬変への進展、発癌率の低下が期待されています。

3.C型肝炎

C型肝炎ウイルスは1989年に発見され、感染すると約70%の方が持続感染となり慢性肝炎の原因となります。1992年にはインターフェロン治療が開始され、現在はB型肝炎と同様に核酸アナログ製剤の内服による治療が可能となっています。核酸アナログ製剤によるC型肝炎の治療は8~24週の内服治療となり、90%以上の人でC型肝炎ウイルスを体内から排除することが可能です。従来のインターフェロン治療よりも確実に安全で短期間に治療できるので過去にインターフェロン治療で治らなかった方や副作用で治療を断念した方でも相談いただければ治療ができます。また、肝硬変となっても核酸アナログ治療は可能であり、ウイルスを排除することで肝臓癌の発

生を抑えることが期待されますので、是非当センターへご紹介ください。

助成制度申請の流れ

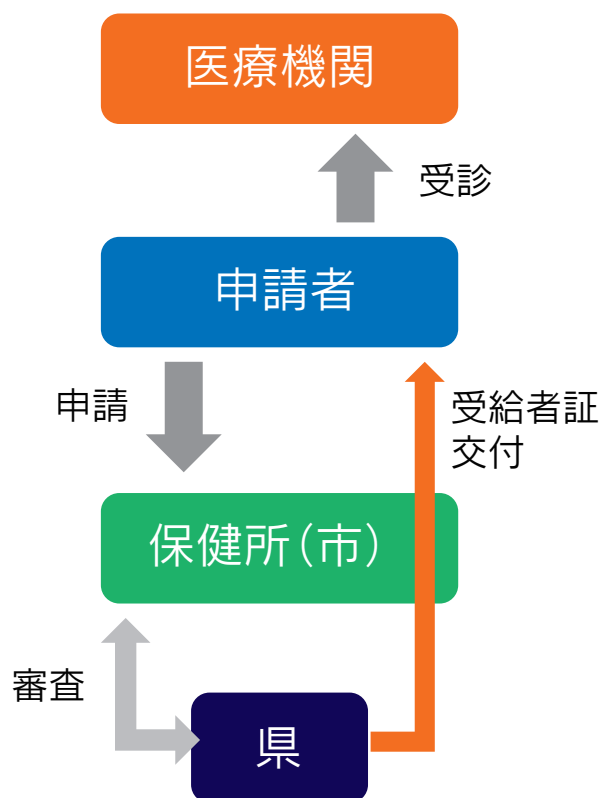


図2 ウイルス性肝炎における医療費助成制度

4.最後に

栃木県では当院を含めて肝疾患専門医療機関が県の福祉部健康増進課と協力し、肝炎ウイルス患者の治療を積極的に行っております(図2)。また、肝炎の治療に係わる医療費助成制度の存在も十分に周知されているとは言い難い状況ですが、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化器病学会専門医のいずれかの資格を持つ医師による申請が可能です。抗ウイルス療法の導入の際に世帯の市町村民税課税年額により自己負担限度(月額)1万円または、2万円となる助成制度があり、当院では申請を行うことが可能となっています。助成制度を利用するためにはB型肝炎の場合は1年ごとの更新、C型肝炎の場合は治療期間内の申請が必要です。今後も当院は地域の先生方とさらなる連携を深めて、肝炎に対する抗ウイルス療法を進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

パーキンソン病から認知症まで脳神経内科の診療



脳神経内科 医長 作田 英樹

ご挨拶

皆様こんにちは、脳神経内科の作田英樹です。今年度で宇都宮病院での診療は6年目となりました。私はこれまで獨協医科大学病院、真岡病院に勤務し脳神経内科疾患全般の診療に携わっており、特にパーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、筋萎縮性側索硬化症といった神経難病に力を入れてきました。現在、常勤医2人と非常勤医1人の3人体制で神経疾患全般の外来診療と急性期・慢性期入院診療を行っています。今回は当院における脳神経内科の診療内容について紹介させていただきます。

1. 神経内科から脳神経内科へ

脳神経内科は中枢神経(脳・脊髄)、末梢神経、筋肉の障害によっておきる病気を診断し治療する診療科です。具体的な疾患としてはパーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺などの神経変性疾患に加えて、脳梗塞や脳出血といった脳血管障害、片頭痛、認知症、てんかん、髄膜炎、末梢神経障害が対象に含まれます。以前は「神経内科」と標榜しておりましたが、一般の方には心療内科や精神科と混同されやすかったことから、2018年に学会として「脳神経内科」という名称に標榜科変更となりました。

2. 古典的技能から最新機器を駆使

脳神経内科が他の内科と大きく異なる部分は病歴と神経診察という古典的技能が今現在でも最も威力を発揮する分野だということです。機器や検査による診断が発達した今日においても、



患者さんの訴え、病歴、神経学的診察所見が診断の上で非常に重要な位置を占めています。詳細な病歴問診と神経診察による評価に時間をかけるため、初診患者さんの診療時間がどうしても長くなってしまうことが多々あります。

当院では神経疾患全てを診療対象として、頭痛、物忘れ、手足のしびれ、手足のふるえ、手足に力が入らない、歩きにくい、言葉が喋りにくいなどの症状がある方はいつでも気軽にご相談いただくと幸いです。疑われる疾患によってはCT、MRI検査だけでなく核医学検査や神経生理検査(神経伝導検査、針筋電図検査)といった特殊な検査が必要になることもありますが、その場合は当院では検査が十分に施行できないため必要に応じて大学病院に紹介することがあります。

外来診療を行っている疾患

- ・ 神経難病
(パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症
(多系統萎縮症、進行性核上性麻痺など)
- ・ 脳血管障害
(脳梗塞や脳出血)
- ・ 機能性疾患
(片頭痛、てんかん)
- ・ 認知症

3.入院は急性期と神経難病に対応

入院診療に関しては急性期地域医療としての入院と、神経難病の特に慢性期末期の患者さんを受け入れる神経難病病棟を運営しています。急性期地域医療の入院は当院で治療可能な脳血管障害(脳梗塞、脳出血)だけでなく、神経難病に合併した誤嚥性肺炎や尿路感染症などに対しても適宜入院対応を行っています。慢性期の入院に関しては神経難病患者さんのレスパイト入院および神経難病末期の長期入院に対応しています。

入院診療を行っている疾患

- 急性期病棟
 - ・ 保存的加療の脳梗塞や脳出血
 - ・ 神経難病に伴う誤嚥性肺炎や尿路感染症
- 神経難病病棟
 - ・ レスパイト入院
 - ・ パーキンソン病、
 - ・ 筋萎縮性側索硬化症
 - ・ 多系統萎縮症
 - ・ 進行性核上性麻痺など



4.神経難病外来を開設

毎週水曜日午後に特殊外来として神経難病外来を設けています。神経難病が疑われる患者さんやレスパイト入院、長期入院を希望されている患者さんがいらっしゃればどうぞお気軽にご紹介頂けると幸いです。脳神経内科領域の疾患は現状では根本的治療が難しいものが少なく、闘病を支えるご家族の肉体的・精神的負担も重いことが多いため、疾患と上手く付き合っていけるような理解を深めるお手伝いもしていきたいと考えています。



5.おわりに

看護部門をはじめリハビリテーションスタッフ、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー等との密接な連携のもとに患者さんの療養生活の質の向上を目指しています。微力ではありますが近くの医療機関との連携を重視し、地域医療に貢献、協力できるようこれからも頑張っていきますので今後とも宜しくお願い致します。

外来でできる one point リハビリ -呼吸器編-

慢性呼吸器疾患の生活動作指導 ～自分らしい生活をこれからも～

当院では、慢性閉塞性肺疾患（COPD）や間質性肺炎などの慢性呼吸器疾患の患者さんへ、呼吸状態に合わせた生活動作の指導を行っています。

生活動作の呼吸への影響を理解する

慢性呼吸器疾患では酸素を取り込む機能が低くなり、動作によってすぐに息切れといった呼吸困難感が出てしまいます。運動では酸素を必要としますが、慢性呼吸器疾患により、取り込むことができる酸素の量が少ないため、少し動いただけで「ガス欠」になってしまいます。予防をするためには、「息がしづらい姿勢を避ける」と「ゆっくり呼吸しながら動く」が重要です。

呼吸に影響のある注意すべき動作

腕を上げたり、おなかを圧迫したりすると、胸郭や呼吸筋の動きが制限されてしまいます。また、繰り返す行為や息を止めることは呼吸のリズムが変わってしまい、息切れするきっかけになります。苦しくなったら、1回動作を中断して、呼吸を整える方法を習得して、習慣をつけることが重要です。

以下に具体例を示します。



腕を上げる

- (例)・洗濯物干し
・洗髪
・上着の着脱



腹を圧迫する

- (例)・庭作業
・足趾の爪切り
・ズボンをはく

リハビリテーション科



繰り返す行為

- (例)・掃除機をかける
・体を洗う
・米とき



息を止める

- (例)・洗顔
・食事
・排便

対処・リラクゼーション

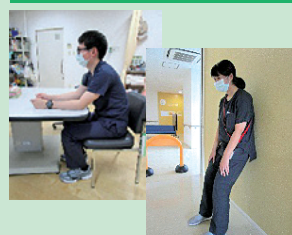
動作をするときはゆっくりと息を吐きながら、呼吸に合わせて動作します。一度に行わず、作業を小分けして行いましょう。また、自分にとって楽な姿勢を見つけることも重要です。

楽な姿勢で行う→対処方法



- (例)
・椅子に座って靴をはく
・竿へかける前に膝の上で洗濯物を干す

楽な姿勢を取り呼吸を整える→リラクゼーション



- (例)
・机に手をつく
・壁にもたれて休む

当科では患者さんの生活や要望に沿って評価を行い、上記のような生活指導を行っています。自分らしい生活をこれからも続けられるよう、ぜひ参考にして頂ければと思います。

～連携室だより～

【連携医のご紹介】

さいとう医院

●院長● さいとう けんじ
齊藤 憲治

●診療科● 内科・小児科・アレルギー科

(ホームページ) <http://www.saitouclinic.jp/>

●住所など●

住所：宇都宮市東峰町 3080-68

電話：028-613-5666

●院長挨拶●

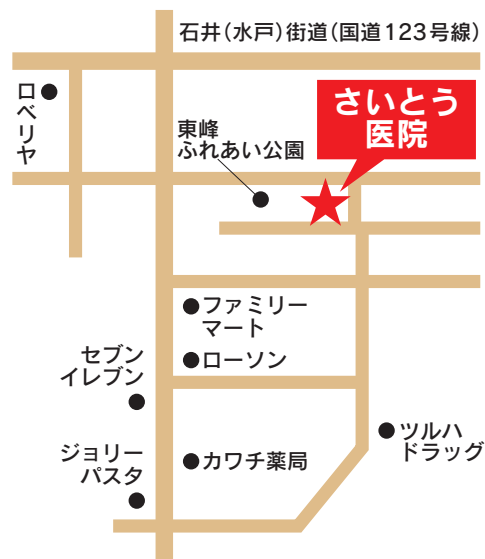
患者さんのお話をよく聞き、診断や治療についてわかり易く説明し、皆様に信頼されるホームドクターを目指しております。

●当院紹介●

親切で丁寧と評判の受付スタッフと優しく明るいナースが働く町の診療所です。乳幼児からご高齢の方まで年齢を問わず、生活習慣病(高血圧、糖尿病、高脂血症など)、感染症(肺炎、腎盂腎炎など)、アレルギー疾患(喘息、花粉症など)をはじめ幅広く種々の内科及び小児科疾患に対応しております。院長が血液専門医なので、小さなクリニックにしては血液疾患(本態性血小板血症、真正多血症、特発性血小板減少性紫斑病、悪性貧血、不応性貧血など)の患者さんが多いのも特徴の一つです。病診連携を大切にしており、必要であれば速やかに NHO 宇都宮病院や大学病院などの専門医にご紹介しております。なお週1回(木曜午前)皮膚科専門医による外来も開設しておりますのでご利用下さい。

●診療時間●

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	△	△
16:00 ~ 18:30	○	○	○	△	○	△	△	△
備考	小児の定期予防接種を平日の 15:30～16:00 に行っています。 皮膚科外来：木曜午前							



外来診療担当医表

(令和3年7月1日～)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
糖尿病・内分泌内科	午 前	佐藤 稔	西田 舞	田中 精一	佐藤 稔	西田 舞
	午 後	佐藤 稔			佐藤 稔	森(最終金曜日)
脳神経内科	午 前	作田 英樹			野澤 成大	
	午 後	作田 英樹	椎名 智彦			
神経難病外来	(午後予約制)			作田 英樹		
消化器病センター	午 前	土田 幸平	菅谷 洋子	嘉島 賢	菅谷 洋子	土田 幸平
	午 後	土田 幸平	菅谷 洋子		菅谷 洋子	
呼吸器・アレルギー内科	午 前	野村 由至 杉山公美弥 小池 亮祐	梅津 貴史 勝部 乙大	勝部 乙大 小林 英夫	梅津 貴史	野村 由至 池田 直哉
	午 後	杉山公美弥		小林 英夫	梅津 貴史 澤幡美千瑠	沼尾 利郎 池田 直哉
禁煙外来(保険適用)	(午後予約制)	杉山公美弥		小林 英夫		沼尾 利郎
アレルギー外来(成人)	(午前・予約制)	杉山公美弥				
	(午後・予約制)	杉山公美弥		勝部 乙大		杉山公美弥
リウマチ膠原病内科	午 前	杉山公美弥		高村 雄太		
	午 後	杉山公美弥		高村 雄太		杉山公美弥 (最終金曜日は休診)
総合診療科	午 前				南 建輔 志水太郎(第3週)	志水太郎(第2・4週)
小児科	午 前		影山さち子 [予 約 制]	影山さち子 [予 約 制]		影山さち子 [予約制](第4週以外)
	午 後		影山さち子 [予 約 制]		子供療育相談ルーム [予約制](第2・4週)	影山さち子 [予約制](第4週以外)
外科	午 前	増田 典弘 井上 昇(第1・3・5週) 館野航平(第2・4週)	小川 敦 山口 悟	滝田 純子 小川 敦	増田 典弘 滝田 純子	滝田 純子 増田 典弘 中島 政信
	午 後					東郷 威男 伊藤 淳
呼吸器外科	午 前					
	午 後					
整形外科	1 診	田中 孝昭	茶藷 昌明	熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週)	茶藷昌明(第1・3・5週) 石川義久(第2・4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	小牧 宏和	種田 雅仁	船井 充(第1・5週) 江崎直哉(第2・4週) 熊谷吉夫(第3週)	種田雅仁(第1・3・5週)	船井 充
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週)		
リハビリテーション科				茶藷 昌明	茶藷 昌明	熊谷 吉夫
装具外来		田中 孝昭				熊谷 吉夫
側弯症外来	午 前				茶藷昌明(第4週)	
障害者歯科						石川 博之

外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00 迄です。緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 地域医療連携室 TEL028-673-2374(直通) FAX028-673-1961(直通)
担当(ソーシャルワーカー)：永山・畑野・吉田・市村・平田・福富(内線 133)

- 下記は入院患者さんを中心として診療しております。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科	午 前		伊藤 致	田所 寿剛	井上 弘貴	齋藤 郁太
	午 後	渡邊 諒	伊藤 致	田所 寿剛		
歯科		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼科	午 後					松原 忠之
皮膚科	午 後			岡本 麻希		
耳鼻咽喉科	午 後	永島 祐美				

- 休診は土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)です。
- 都合により臨時休診になる診療科もありますので、ご確認のうえ、ご来院ください。



独立行政法人(NHO)

国立 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160

TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148

<https://utsunomiya.hosp.go.jp>